



自分にできることを見つけよう
福井市総合ボランティアセンター

そうぼら通信

2021

令和3年
12月発行

Vol.23



みんなの活動 パネル展2021

10月16日から11月3日まで、市民活動団体を紹介する「みんなの活動パネル展」を、総合ボランティアセンターとハピリン2階しあわせ広場で開催しました。工夫を凝らしたパネル展示、そして特色を活かしたワークショップで盛り上げていただいた団体のみなさん！ご協力ありがとうございました！



子どもや高齢者に寄り添う活動
**東安居ふれあい
こどもサロン**
ルービックキューブとサンドアート



知的財産権に関する普及活動
福井県発明くふう研究会
発明やアイデア品の展示・販売会



女性や障がい者の自立支援活動
福井女性フォーラム
子どもたちのオリジナルマスクづくり



介護の経験を活かした活動
福井市介護者家族の会
介護の悩み相談会



心とからだの健康のための活動
心からだサポート協会
心温まる交流会



地球温暖化防止活動
アースサポーター福井会
エコドライブシミュレーター体験

パネル出展団体

Thanks!

アースサポーター福井会、(一社)ガールスカウト福井県連盟、(公財)がんの子どもを守る会福井支部、グリーンケア福井、劇団「幸齢者」、(特非)心からだサポート協会、(特非)心に響く文集・編集局、チャレンジ俳句会、(特非)NICE(日本国際ワークキャンプセンター)、(特非)農と地域のふれあいネットワーク、ふくい温暖化防止センター、(特非)福井芸術・文化フォーラム、(特非)福井県ウォーキング協会、(認特)福井県子どもNPOセンター、福井県卓球バレー協会、(特非)福井県発明くふう研究会、福井県レクリエーション協会、福井市介護者家族の会(かたらい会)、ふくい笏谷石の会、(特非)福井女性フォーラム、福井市歴史ボランティア「語り部」、福井・タンザニア姉妹村協議会、(特非)福井地域環境研究会、(特非)ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)、木曜お堀の会、ものづくりクラブ、(特非)ワーカーズコープ福井事業所(五十音順)

企業と団体の取り組むべき

SDGs



**講師 (特非)岡山NPOセンター
代表理事 石原 達也 氏**

2001年大学生のみのNPO法人設立に参画し、2003年鳥取市社会福祉協議会に入職。ボランティアコーディネーターを務めた後、出身地岡山でNPO法人岡山NPOセンター事務局長に就任。現在は代表理事として、日本NPOセンター、日本ボランティアコーディネーター協会、SDGs市民社会ネットワークの理事など幅広く活躍。社会課題と社会をつなぎ、その解決に挑む人々を支援している。

10月20日オンラインで開催したセミナーは、企業の社会貢献の担当者や市民活動団体が、SDGsの17の目標の下にある169のターゲットについて学びながら、私たちの活動とどのように結びついているのかを考えてみよう、という試みでした。
みなさんも、自分たちの活動とSDGsとの関わりについて、この機会にぜひ考えてみてください。

目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

例えばシングルマザーなどの、貧困状態にある方を半減させていく。また、炊き出しやホームレスの方を支援するような活動もここに該当します。今年、佐賀で水害がありました。2年前に災害を受けたところがまた今回被害を受けている。災害による経済的な格差で苦しまないように、というようなことも入っています。

目標 2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

小規模の農業をされている方でも、ちゃんと所得を得て、農業が続けられるようにしましょう。また、気候変動による災害で、農業がだめになってしまうことを無くす。台風でリンゴが落ちてしまった、稲が倒れてしまってコメがとれない、ということで被害に逢うことがあるかと思います。一方で、企業が最新鋭の農業機械などを開発していることも含まれます。

目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

基本的には感染症や薬物依存症などの対策が入っていますが、ちょっと変わっているものとして、交通事故による死傷者を半減させるというのがあります。事故防止や交通安全の活動をされている方は、実はこの目標に関わっています。また、今、水俣病の映画が話題になっていますが、公害や大気汚染、たばこなど健康に関することも入っています。

目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

基本的には学校教育と生涯学習・社会教育。中でも特に、技術や職業のスキルを身につけて働きがいのある仕事につけるよ

うにすることや、若者が起業できるようにしましょう、ということも入っています。また、ジェンダーの問題や教育施設自体を子どもに配慮したものに変える、ということも入っています。LGBT(性的マイノリティ)の方が、トイレが男性女性しかなくて苦勞されるといった課題も含まれます。

目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

日本は、政治や経済において女性のリーダーが少ないと指摘されています。また、未成年者の強制結婚や、女性が就労しつづけられるようにといったことも。僕は今、育休を取らせていただいているのですが、無報酬の家事労働を適切に評価しましょう、ということも入っています。最近、話題になったドラマ「逃げ恥」は、ガッキーが星野源さんに月給19万4千円で雇われ、最初は仮面夫婦をする話でした。男性が働いて稼いできているから女性は家に、ということではなくて、家事労働もきちんと評価することが言われています。

目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

発展途上国の衛生という感じが強いですが、併せて、水資源を守ることをちゃんとやりましょう、ということになっています。四国など日本でも、水不足になることがよくあります。また、水の生態系の保護・回復、水や衛生の管理にコミュニティの参加を支援する。会社や町内会で河川清掃するようなことをして、水と衛生の管理をしていくこともここに入っています。

目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

再生可能エネルギーの割合拡大や、エネルギーの効率改善を図ろう、化石燃料が無くなっていくことから、環境負荷の低いクリーンエネルギーを導入しましょう、ということが含まれます。また、断熱材を入れるなど省エネを図る、エネルギー効率を上げることを会社や家でやる、再生エネルギーの電力会社から電気を買う、といったことも入るといいます。

目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

若者や障がい者の方々が、働きがいのある人間らしい仕事

につくことができる。また、児童労働を無くそうといったこともあります。一方で、中小零細企業が、イノベーション支援や金融サービス、投資を受けやすいようにする。ブラック企業みたいなことを無くそうといったことも関係すると思います。もうひとつが観光業。福井の観光地や、地域の特産品を守るようなことをされていけばここに入ります。

目標 9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

基本的にはインフラやバリューチェーンを守ることになっています。また、地域越境インフラと書いてありますが、山間地や県境などで物が届かないとか、そういうことにならないようにしましょう、ということも入っています。後は、資源の利用効率をあげてクリーンエネルギーを進めていく。生産現場でなるべくゴミが出ないとか、資源利用効率が高い生産を維持するということに取り組みられていましたら、ここに関わります。

目標 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する

種族・民族や、宗教関係における差別を無くす、ということになっています。日本で昔から言われるのが部落差別を無くしていこうということ。それによって、採用や結婚ができないとかを無くしていく。海外だと、ブラック・ライブズ・マターということで、黒人の方に対する差別とか、黒人の方に対して警察が不当な逮捕をするということが大きな運動になりました。沖縄の古くからの文化や、アイヌの文化とか史跡を守るということも、ここに入ります。

目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

災害に強い街にしていくことの他に、自然遺産になっているようなものの保護活動、文化遺産、建造物を守る活動も入ります。高齢者や障がい者の足として、公共交通が大事な訳ですが、そうした公共交通や移送システムの維持を図ることが入っています。また、女性や子ども、高齢者や障がい者、みんなが楽しめるような公共施設にしていく、ということも含まれます。

目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する

スーパーとかコンビニストアとかで賞味期限前のものが捨てられてしまう。工場でたくさん作った製麺などが捨てられてしまう。そうしたことを無くしていきましょうということがあります。野菜も作り過ぎて捨てたり、家で買ったものをそのまま腐らせてしまうといったことがあるかと思いますが、「サーキュラーエコノミー」といって、捨てるようなもので新たに服を作るとか、デパートやアパレルで服を回収し、また作り直すといった活動もあります。

目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

気候関連災害や自然災害に対する強靱性を整備しましょう、ということが入っています。梅雨や台風シーズンで大きな被害が出ていますが、こうしたことに対応していくようにする。水害でダムになってしまうといったことがたくさん起きていますし、土砂

崩れの被害も多いので、こうしたことに対応していく。地域で防災活動をするのもここに関わると思います。

目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

よく言われるのがマイクロプラスチック。海のゴミの中でプラスチックが非常に問題があると言われていて、瀬戸内海や日本海、太平洋も含め、ゴミの問題は海外とつながっていることもあるので、グローバルに取り上げられることも多いかと思います。併せて、獲り過ぎてしまい魚がいなくなってしまうようなことは止めよう、ということが入っています。一方で、小規模の漁業者の方々の生活が成り立つようにしましょう、ということや、水産養殖や観光といったことも入っています。

目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

日本は本当に林業が盛んですので、林業の事業者を守るといったことや、資源環境を守るといったことも入っています。そうした森林経営とか動植物保護みたいなことに併せて、最近、テレビでよくやっていますのは外来種のこと。TOKIOの番組で、川の中を調べ、外来種が増えて元々いた固有種が食い荒らされている話とか、池の水を全部抜く大作戦というのがあるかと思っています。こうした外来種に対する対応と、池の清掃や維持を図る活動もここに入ります。

目標 16. 持続可能な開発のための平和と包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

表面には平和ということが強く出てきますが、中身としては暴力や汚職の撤廃になっています。DVや虐待などは当然だと思わなくても、子どもに対する虐待、搾取とかそういうものを無くす減らす。最近、ヤングケアラーも課題になっているかと思っています。また、公共機関を透明性の高いものに発展させる。行政における取組なんかがもっと公開されて、市民がパブリックコメントなど、いろんな形で関わられることを進めましょう、というようなことも書かれています。

目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

様々なパートナーの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進しましょう、ということになっています。(文責:福井市総合ボランティアセンター)

終了後のアンケートから
 「ターゲットの中に意外な項目も含まれていることが分かり、自社の活動を考える上で参考になった」「グループワークで団体の取り組みを聞き、これからの活動をSDGsの何に当たるかを明確にして取り組もうと思った」「他の団体がどんな取り組みをしているかを知ることができ、自分の思いを皆さんに伝えることが出来た」といった意見をいただきました。一方で、「そもそも自分の団体がパートナーとなり得るための発信が足りていない」「企業との接点がない」「SDGsに関してどういった取り組みがあり、どこまで協力できるか、お互いに知る必要がある」といった意見もいただきました。

講座情報

詳しくは [福井市ボランティアネット](#) でお確認ください。

タイトル	日時	会場・定員	内容
フォローアップ講座 ものづくりクラブといっしょに 「ものづくりボランティア」	1月19日(水) 13:00~15:00	総合ボランティアセンター 定員:15人(先着順) 受講料:無料	タオルケア帽子や手編みパッドなどを手作りしているボランティアグループと共に、闘病中のがん患者支援を目的とした、ケアグッズ(サシェ)を製作するボランティアに参加します。
フォローアップ講座 ボランティアのための 「心と体の リフレッシュセミナー」	2月5日(土) 10:00~12:00	総合ボランティアセンター 定員:20人(先着順) 受講料:無料	Living space Atha.ヨガインストラクターの高橋絵麻さんを講師に、無理をしないでボランティアのコツを学びながら、活動で生じる心と体の緊張感をヨガで和らげる講座を開催します。
ステップアップ講座 「心をつなぐ コミュニケーションスキル」	2月19日(土) 13:30~15:30	総合ボランティアセンター 定員:20人(先着順) 受講料:無料	(特非)たんなん夢レディオ理事長の菅原藤理さんを講師に、緊張をほぐし、より効果的なコミュニケーションを生み出すアイスブレイキングの手法を学びます。
ボランティアマネジメント研修 「コロナ禍での受入れ 再開の糸口をつかむ」	2月17日(木) 13:30~16:30	オンライン受講 定員:30人(先着順) 受講料:無料	(認特)日本ボランティアコーディネーター協会の青山織衣さんを講師に、福祉施設でのボランティアマネジメントについて、基本に立ち返って学びます。
NPO・市民活動セミナー 「市民活動を応援する 助成金合同説明会」	2月12日(土) 13:00~16:00	総合ボランティアセンター 定員:25人(先着順) 対象:市民活動団体、助成金に関心のある方	地域や社会のための活動を応援する、各種助成金について説明します。評価のポイントや申請のコツを学んで、活動資金の獲得に活かしてみませんか?
NPO・市民活動セミナー 「市民活動のための AED・救命講習」	2月27日(日) 10:00~11:30	総合ボランティアセンター 定員:15人(先着順) 受講料:無料	市民活動やボランティア活動のなかで、いざという時のために適切な処置ができるよう、AEDの使い方や救命処置を分かりやすく学びます。

(感染症対策で変更になる場合があります)

ユニバーサルスポーツを体験しよう!



みんなで楽しく
盛り上がったわ!



11月21日に総合ボランティアセンターで、高校生を対象にユニバーサルスポーツを体験する講座を実施。高校生と日本語を学んでいる福井在住ベトナム人の皆さんが、福井県卓球バレー協会事務局長の齋門さんの指導のもと、卓球バレーを体験して楽しみながら、スポーツを通じたボランティアを学びました。



自分にできることを見つけよう

ボランティアネット 福井市総合ボランティアセンター

そうぼらではこんなことができます

- あなたにあった活動が見つかります!
- ボランティアの情報がわかります!
- 講座や交流会に参加できます!
- 交流ひろばや研修室がつかえます!
- チラシやポスターが印刷できます!

〒910-0006 福井市中央1丁目2-1ハピリン4階
福井市市民協働・ボランティア推進課
TEL:0776-20-5107 FAX:0776-20-5168
E-mail:volunteer@city.fukui.lg.jp

開所時間 火曜日~金曜日 9時から21時
土曜日・日曜日 9時から17時
休所日 月曜日、祝日、年末年始
(祝日が土日の場合は開館)

